

特許願(1)

昭和50年2月12日

特許庁長官 殿

न्त्रत

よくソウェン ステート・インウェン

ェラステイツク・コンタクトシート +イソウホゥホゥ の 製 浩 方 法

2. 発 明 者

居 所

氏 名

東京都港区芝琴平町10番地 神電気工業株式会社内 野女生、大大(近か2名)

3. 特許出願人

住 所(〒-105) 名 称(029) 東京都港区芝罘平町10番地 沖電気工業株式会社 取締役社長山本正明

代表者 4 代 理 人

> 居 所(〒-105) 東京都港区芝罘平町10番地 沖電気工業株式会社内

氏 名(6892)

鈴 木 敏 明 (501)3111大代表

50. 2.12 (501)

方式(

50 016915

明 細 書

1.発明の名称

エラステイック コンタクトシートの製造方法

2. 特許請求の範囲

磁気シールド作用のない非磁性材より成る物体間に介在した、磁気的影響を受ける導電粒子と可撓性絶縁物とが均一に混り合つた硬化前のエラステイック・コンタクト素材に、平行磁界を附勢する事によつて上配素材中の上記導電粒子を一方向に整列する事を特徴とするエラスティック・コンタクトシートの製造方法。

3.発明の詳細な説明

本発明はエラステイック・コンタクトシートの製造方法に関し、詳しくは、電気的接続を図る為に接続物体間に介在させるコンタクトシートであつて、半田付の不要な且つダンバー作用を有するエラステイック(elastic)・コンタクトシートの新規な製造方法に関するものである。

19 日本国特許庁

7303 57

公開特許公報

①特開昭 51-93393

43公開日 昭51. (1976) 8.16

②特願昭 50-16915

②出願日 昭50(1975)2/2

審査請求 未請求

(全2頁)

庁内整理番号

6843 57 5334 57 6412 52

52日本分類

62 A1 59 G402 60 D0 62 B0 51) Int. C12.

HOIB \$\ 00 HOIF 1\ 00 HOIR 3\ 00 HO\$K 3\30

特朗 匹51-93393 (2)

第1図は本発明の製法を説明する一実施例工 程説明図でWに示す様に磁気シールト作用のな い非磁性材より成る物体、例えばプラスチック 板 1 . 2 を、所望の間隔を持つて対向させる。 上記間隔はエラステイック、コンタクトシート、 の板厚と成るもので任意に設定すれば良い。そ して個に示す様に磁気的影響を受ける粒子、好 適には Fe - Ni 合金(パーマロイ)に代表され る残留磁気の小さい導電粒子3と、可撓性を有 する絶縁物、例えばシリコン樹脂の様なポリマ - パインダ4とが混合されたエラステイック。 コンタクト素材を変化前に上記板 1 , 2 間に 流し込む。そして(C)に示す様に図示しない平行 磁界発生源により、矢印で示す、平行磁界Hを 上記素材型の厚さ方向に付勢する。該平行磁界 Hの付勢によつて上記素材5中の導電粒子3は、 1第2図にその断面を拡大して示す様に上記平行 磁界Hに沿つて整列される。との様に平行磁界 Hによつて導電粒子3が厚み方向に整列された 素材をは硬化する事によつてシートを形成する。

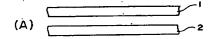
以上本発明方法によつて製造されたエラステ イック・コンタクトシートは、シート厚さ方向 に髙い信頼性の導通回路を形成し、隣り合う接 点間、換目すれば反厚さ方向に高い絶縁性(本 発明方法によれば1×10°Ω)を示す、簡単に にして優れた特性を示すエラステイック・コン タクトシートが得られる。

4. 図面の簡単な説明

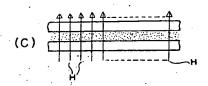
第1図は本発明の製造方法を説明する一実施 例工程説明図であり、第2図は本発明方法によ つて得られたエラスティック・コンタクトシー トの一部拡大断面図である。

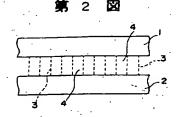
1,2…プラスチック板、3…導電粒子、 4 …ポリマーパインダ、 5 …エラステイツク・











B. 前記以外の発明者

氏名

氏 名